

「地域・学校・家庭で育む」コミュニケーション能力

【問い合わせ】秘書広報課女性活躍・国際化担当(☎28局1711内線1302)



村の将来を担う若い世代の方々の思いや考えを語り合う「Cafe de 村長」。カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、山田村長と自由に話してもらうことで、今後のまちづくりのヒントにしたいとの思いから、平成27年度から開催しています。

今回は、6月10日に「地域・学校・家庭で育むコミュニケーション能力」と題して、村内の小中学校PTA役員からなる平成30年度東海村女性ネットワーク委員(13人)と意見交換を行いました。その内容の一部をご紹介します。

【家庭でのコミュニケーション】

村長 皆さんよりは世代が上ですが、今の子育ての環境は大変だということも理解しています。今日は、地域・学校・家庭などのコミュニケーションについて、ご意見や、皆さんが日頃感じていることなどを教えていただきたいと思います。

参加者 子どもと一緒に寝て、寝るまでの時間を子どもの話を聞く時間に使っています。それによって、子どもも自分の気持ちを上手に伝えられるようになってきました。

参加者 子どもも親も忙しい毎日を送っていると、ゆっくり話をする時間が持てません。そういったときには、「LINE」を使ってコミュニケーションをとることもあります。本来は顔を合わせて話すことが大事だと思いますが、文字にして書くことで自分の考えなどが整理できる等のメリットもあります。

【家庭と学校とのコミュニケーション】

参加者 子どもから学校での出来事を話してくれることが少ないのですが、担任の先生が定期的に電話をくれて、学校で頑張っていることなどを話してくれます。それが子どもとの会話のきっかけになるので、ありがたいです。



参加者 中学校での3年間は特に心身ともに大きく成長する過程なので、家庭と学校とのコミュニケーションが密に取れることが理想だと思います。

村長 子どもの特性をよく見ることが必要だと思います。中学校生活は一人ひとりが自立を求められているので、そこうまく適応できないお子さんに対して、学校と家庭でサポートしていけるような体制づくりが大事だと思います。

【地域とのコミュニケーション】

参加者 常会や子ども会など、年間を通して積極的に活動をしているのですが、中には、常会や子ども会に入っておらず、地域のことを

何も知らない方もいます。地域交流という面では、ギャップを感じることがあります。

参加者 地域での役員をやっていますが、いろいろな集まりがたくさんあって負担に感じるところがあります。これまでのやり方を見直していきたいと思っていますが、なかなか変えられない現状があります。

村長 昔のような地域コミュニティを維持していくことは難しくなっています。自分たちの生活を基本とする中で、ゆるやかに地域とながっていくように変えていく必要があると思います。率直な思いをお伝えいただき、ありがとうございます。



「Cafe de 村長」にご参加いただいた皆さん